



8月15日(金)  
(朝7:30~正午12:00)

さんもんせがきえ  
山門施餓鬼会

(水向料は 一家 12,000円となります)



新盆をお迎えになるご家族はもちろん、仏様のいらっしゃるご家族の皆様  
どうぞ親族おそろいで、山門施餓鬼会にお参りください。

もうすぐ立秋とはいえ、猛暑が続きます。  
蝉しぐれの勢いも今がピークでしょうか。  
今年もご先祖様がお戻りになる季節がやってきました。  
今月15日には山門施餓鬼会を迎えます。



この法要では「開甘露門」というお経を中心にお唱えします。  
このお経は、お釈迦様の十大弟子の一人 阿難尊者の逸話から生まれました。  
(お経の文字を追っていくと「阿難尊者」の文字が出てきますよ)

阿難尊者(あなんそんじゃ)がいつものように修行をしていると、目の前に  
焦面鬼王(餓鬼)が現れ、こう言った。「お前は3日のうちに死に、餓鬼道に  
落ちるだろう。それを避けるには、一人一斗の飯食を餓鬼やバラモン、仙人ら  
すべてにふるまい、私のために三宝に供養することだ」と。

さて、餓鬼やバラモン、仙人すべてというと、ガンジス川の砂の数ほど無数  
におり、それらひとり一人に一斗の飯食を施すような莫大な食糧は持ち合わせ  
ておりません。

困った阿難尊者は、師匠であるお釈迦様に相談します。すると特別なダラニ  
(呪文)を教えていただけました。少量の飯食をもって、このダラニを唱える  
と途端に莫大な量の飯食となり、すべての餓鬼やバラモン、仙人ひとり一人に  
充分な飯食がいきわたり、阿難尊者は餓鬼道に墮ちることを免れたそう。

今も修行道場などの食事作法の中では、阿難尊者の逸話にならって「<sup>きぼ</sup>生飯をとる」  
ということをしします。食膳に向って箸をとる前に、自分に与えられた白粥の中から  
7粒程のご飯をとり「偈」を唱え、鬼神に供養します。この時お唱えする「偈」は、  
「開甘露門」の中の「汝等鬼神衆 我今施汝供 此食遍十方 一切鬼神俱」の部分。  
読み下してみると、

「<sup>なんじら</sup>汝等鬼神衆よ、<sup>なんじ</sup>我は今汝に<sup>ほどこ</sup>供物を施そう

此の飯食が十方すみずみまで行き渡り、一切すべての鬼神とともにせん」

山門施餓鬼会でもお参りいただく際には、  
皆様に米粒を7粒程とって餓鬼に供養していただきます。

普段の年忌法要とは異なり、  
自分のご先祖様へのご供養とともに、  
十方すみずみで苦しんでいる餓鬼にも供養できるのが  
お施餓鬼の特徴です。

自分の家さえ良ければいい、といった気持ちではなく  
家族を持たない寂しい無縁仏様のためにも  
手を合わせ、供養をする  
そんな潤いある広い心が、お施餓鬼の心なのです。



# 大智寺だより

平成26年葉月  
Vol.54

発行所  
大智寺

岐阜市山県北野  
668-1  
電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

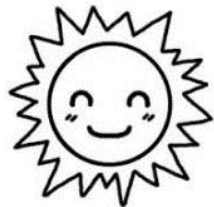
検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地  
の水小屋にてご自由にお取り  
いただけます。  
又、当寺ホームページにて  
過去すべての紙面をご覧いた  
だけます。ご活用ください。

7月号発行部数  
200部

ご愛読  
ありがとうございます



## 8月 お盆の棚経



今年も住職と副住職が自転車で棚経に伺います。  
例年通りの予定ですので、よろしくお願いします。

- 12日(火) 午後 12:30~5:30 里4 (山口正三様より) →里3←里2 (山口卓雄様より)
- 13日(水) 午前 6:30~12:30 高富・福富・太郎丸・関  
午後 10:00~5:30 里5 (村井博史様より) 出屋敷 (笠井伸治様より)  
午後 19:00~21:00 大洞
- 14日(木) 午前 6:30~7:30 門屋 → 7:30~ 宮川様より東へ 里2、里3の5軒  
午前 7:00~11:00 里1 (渡辺年勝様より)  
午前 11:00~13:30 西山西 (山口豊雄様より) 西山東 (笠井岩夫様より)

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～  
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc  
わからないこと 質問帳 ④



「お施餓鬼で持ち帰る籠は、どうして色紙がついているの？」

8月15日の山門施餓鬼会では、お参りいただいた方に「施餓鬼幡(せがきばた)」をお渡しします。  
「施餓鬼幡」とは、割竹に五色(ごしき)の色紙をはさんだもので、  
お施餓鬼の後にお墓に飾ったり、お墓がない方は仏壇に飾ったりします。

五色と言うと、鯉のぼりの一番上にある吹き流しや、七夕飾りの短冊、  
大きなお寺の五色幕を思い出される方もいらっしゃると思います。  
いったい「五色」という考え方は、どこからきたのでしょうか。



さかのぼると、日本の文化は中国の影響を大きく受けています。  
仏教も中国から伝わった文化の一つです。  
その中国では、古来万物は「陰・陽」の二気、「木・火・土・金・水」の五行で成り立っているとす、  
「陰陽五行説」が広まっていた。下に表にしたものは、陰陽五行説のほんの一部です。

| 【五行】 | 【五色】 | 【五方】 | 【五智如来】   | 【七如来】          |
|------|------|------|----------|----------------|
| 木    | = 青  | ……東  | ……阿閼仏様   | …… 妙色身如来       |
| 火    | = 赤  | ……南  | ……宝生仏様   | …… 多寶如来・宝勝如来   |
| 土    | = 黄  | ……中  | ……大日如来様  | …… 広博身如来       |
| 金    | = 白  | ……西  | ……阿弥陀如来様 | …… 甘露王如来・阿弥陀如来 |
| 水    | = 黒  | ……北  | ……釈迦如来様  | …… 離怖畏如来       |

「七如来」は、お施餓鬼でお唱えするお経「開甘露門」の中に出てくる仏様ですので、  
お経本を手にとって、探してみてください。(大智寺檀信徒日課経典 19ページ)  
七如来はそれぞれ五智如来を意味しており、南北東西中央の五方角を守っておられます。  
そして皆様のご先祖様をお守りするため、青赤黄白黒の五色で表され「施餓鬼幡」となり  
お墓に飾られるのです。(当寺では、青の代わりに緑、黒の代わりに紫を使用)



つまり施餓鬼幡の五色の色紙は、五智如来(七如来)の化身であり、  
ご先祖様をはじめ多くの有縁無縁の餓鬼を救う意味合いが込められているのです。  
今年のお施餓鬼で施餓鬼幡を手にとられる際には、こんなことも思い出してみてください

日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から  
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課経典  
31 ページより

④

「一念不生（いちねんふしょう）に至る時 たちまち仏性現前（げんぜん）し」

禅宗ではなぜ坐禅をするのか、それは心の中から雑念をなくすためです。

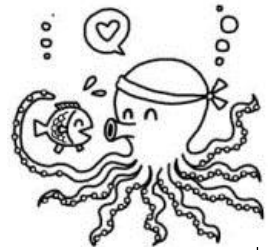
坐禅では、「数息観（すうそくかん）」という方法が最もポピュラーではないでしょうか。だいたい1分～1分30秒の短い時間の中で、深い呼吸とともに1から10まで数える方法で、10まで数えたら、再び1に戻って「いーち、にーい、さーん・・・」と10まで数えます。

一本のお線香が燃え尽きるまでの、ごく短い時間の坐禅の中で、きちんと1から10まで数えることを繰り返すのは、至難の業です。

「蚊が寄ってきた」「今夜何を食べようか」「足がしびれてきた」  
いろいろなことが頭をよぎり、心を乱していきます。

そんな心の雑念を一切振り切り、10数えることに徹することができた時、すなわち「一念不生（一つの雑念も生まれてこない状態）に至る時」となります。

その状態になると、たちまち自分の心に仏性（仏の心）が現れ、お釈迦様とまったく同じように、悟りの境地が開かれます。



夏は自然との垣根が低くなり、「みんな一緒に生きていくんだ」ということを気づかせてくれます。  
夏の元気なお客様は、「ここは人間の領域」と引かれた心の境界線をお掃除しに来ているのかも  
しれないと、ふと思ったりする今日この頃です。

夏バテしてしまう人間とは違い、野生の動物や虫たちは夏もおかまいなしに元気はつらつです。お寺には内外かまわず、日々そんな元気なお客様が来ます。お手洗いの掃除などは、人間様の汚れなど微々たるもので、ほとんどはハチなどの昆虫類、ヤモリやトカゲの類いの落し物です。人間様のお手洗いを掃除しているはずなのに、どこか別世界のお掃除おばさんになった気分になります。廊下もわかり、人間様はちゃんとスリッパをはいてくださいますが、なぜか泥足で小さな足跡をたくさん残す元気なお客様がいます。悲しくなるのは、本堂の本尊様に見守られて、恍惚と畳の上にハチやクモが転がっている時です。どうしてこんなところに迷い込んだのかと思ってみたり、最後はここで決めてきたのかと思ってみたり。

土用明けを目前に暑さ一段ときびしく、夕立を心待ちする今日この頃です。先月来山門の大木で子育てをしていたフクロウ（アオバズク）の親子も無事飛び立ち、お寺はお盆の季節を迎えました。熱中症が心配ですが、皆様お変わりありませんか。

今月のひまわり

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪  
冷やしておいしい タイ風かぼちゃデザート



- ① かぼちゃ 400gの種を取り、皮をむき、1～2cm角に切る。
- ② 切ったかぼちゃを器に入れて電子レンジで3～4分温める。  
竹串がすーっと入るのが、目安。
- ③ 牛乳 200cc、ココナッツミルク 400cc、砂糖大さじ4、かぼちゃをお鍋に入れて中火で煮る。
- ④ 煮立ったら火を止め冷やして冷蔵庫に入れ、つめた～くなったら出来上がり。

かぼちゃの皮はもったいないで、大切にしておいてかき揚げてんぷらに使ったり、千切りきんぴらにしたりして使うんやよ。畑でかぼちゃが、ゴロゴロとたくさん採れるで家族が飽き～へんようにアレコレ作るんやよ。夏は冷たいもんがやっぱりおいしいでねえ。





## ～ うちの宗教って、どんなやつけ？ ～

第十九回：信条（しんじょう）

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



「信条」つまりモットー、固く信じて守っていくもの。  
就職活動の面接でおなじみの質問は、「あなたの信条は何ですか？」でしょうか（笑）  
大本山妙心寺でも檀信徒皆様の信仰のよりどころとして共通の「信条」を定めています。

自身仏であることを固く信じて坐禅に励み、本当の自分にめざめ、  
どんな苦難にもくじけず、常に脚下（あしもと）を見つめて暮らしを正し、  
生かされている自分を感謝しつつ、世のため人のために尽くします。

禅宗の特徴である坐禅は、自分の中の仏心を悟るための方法です。  
仏心を悟ることによって、今以上に「生きていること」の素晴らしさを体感することとなり、  
自分は「生きている」のではなく「生かされている」のだという、  
突き動かされるような感動と、全宇宙の万物に対する感謝が芽生えます。

これを原動力としたならば、自分の私利私欲ではなく  
世のため人のため、惜しみなく全力を発揮することができます。

私たちの信条は、坐禅を通して自分の心を穏やかに保ちつつ、  
世のため人のために尽くすことなのです。



## ♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎  
東日本大震災物故者追善供養  
毎月 第四日曜日  
定例写経会

### 今月の日程

8月24日（日） 一回500円  
（朝8時～9時） （内300円は義援金）  
要申込

### 7月写経会 備忘録

暑い盛り、青空が広がる7月の写経会。8時  
でも汗が出るほどのお天気でしたが10名の  
方々にお越しいただき、ありがとうございました。  
今回は般若心経の「行深般若波羅蜜多  
時」を説明させていただきました。布施行の  
たとえ話「手と口のお話」や「働かないみつ  
ばちのお話」いかがでしたか？今回はお寺で  
採れたブルーベリーをおすそ分けしました。  
ジャムやケーキ作りにお使ください（笑）

## 永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、  
永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒に  
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。  
永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから、  
「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓  
1区画：38万円～  
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、  
また、その方のご希望により  
費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めて  
ご説明いたしますので、ご予約  
の上、ご来山ください。